

マットではなく、子どもが入り込めるほどの大きな段ボールを使うのもよいでしょう。この場合は遊びが終わったら、段ボールを畳んでしまう、というルールにします。

また、リビングの片隅に小さなテーブルとイスを置き、本を読んだり絵を描いたりする場所をつくるのもおすすめです。自分の部屋を持つ前にこうしたスペースがあると、「家での勉強」も楽しんでやるようになる可能性があります。

どんなスペースが最適なのかは、子どもの遊び方や性格、個性によっても違います。いろいろ試してみて、子どもが気に入るものを選びましょう。そうすることで子どもは喜びますし、「自分でやる」という意識が自然と生まれますので、ぜひ取り入れてみてください。



↑マットは小さすぎると遊びにくく、大きすぎると片付けにくいもの。
120×80cmくらいのサイズがおすすめ